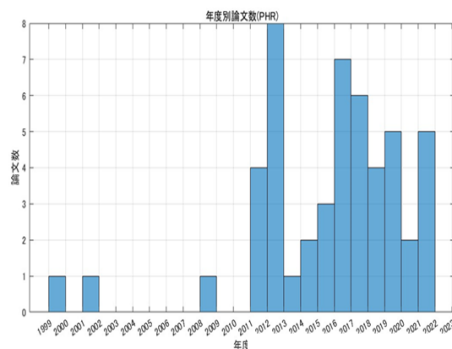


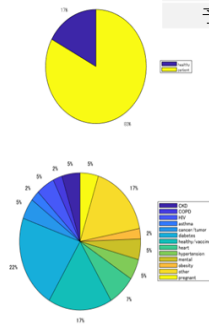
① PHRに関わる国内外のエビデンスの収集・レビューと論文投稿



Type	Number of journals published	Percentage (%)
1 healthy	7	17.0732
2 patient	34	82.9268

PHR論文の疾患別割合

Type	Number of journals published	Percentage (%)
1 OGD	2	4.8780
2 COPD	1	2.4390
3 HIV	2	4.8780
4 asthma	1	2.4390
5 cancer/tumor	2	4.8780
6 diabetes	6	14.5512
7 healthy/vaccine	7	17.0732
8 heart	3	7.3171
9 hypertension	2	4.8780
10 mental	2	4.8780
11 obesity	1	2.4390
12 other	7	17.0732
13 pregnant	2	4.8780



PHRに関しては医療従事者が対象となっている論文はいまのところなし

PHR論文の中で行動変容に効果があった項目・論文数

項目	証拠なし	有意な証拠あり	項目	糖尿病	精神疾患	心血管疾患	喘息	HIV	高齢者	その他	健常者
自己効力感	1		自己効力感					1			
コミュニケーション		3	コミュニケーション	1		1				1	
喫煙	1		喫煙		1						
自己管理行動	1	1	自己管理行動	1							
薬の服用	1	1	薬の服用						1	1	
受診数	2		受診数				1			1	
再入院率		1	再入院率							1	
予防サービスの利用	1	3	予防サービスの利用		1	1		1			1
予防接種		4	予防接種						1		3

結論と課題

- ・現在、PHRの活用による行動変容を評価した研究はまだ多くない。
- ・課題として「行動変容の定義」「自己効力感などの評価の難しさ」がある。
- ・患者の参加度レベルを評価するための指標「Patient Activation Measure (PAM)」を使った研究が進行中。
- ・今後の課題は、PHRの有用性を明確にすることや、より効果的なシステムツールの研究。

行動変容への影響をまとめ、英文誌投稿中
「Impact of personal health record use on behavior change/modification for lifestyle-related diseases」